



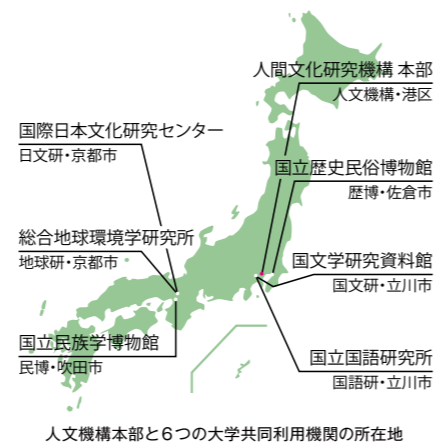
大学共同利用機関法人 人間文化研究機構(略称：人文機構)は、4つの大学共同利用機関法人のうちの1つであり、人間文化研究にかかわる6つの大学共同利用機関で構成されています。それぞれの機関は、人間文化研究の各分野におけるわが国の中核的研究拠点、国際的研究拠点として基盤的研究を深める一方、学問的伝統の枠を超えて相補的に結びつき、国内外の研究機関とも連携して、現代社会における諸課題の解明と解決に挑戦しています。真に豊かな人間生活の実現に向け、人間文化の研究を推進し、新たな価値の創造を目指します。

### 研究推進・情報発信事業

本年度より人文機構は、総合人間文化研究推進センターと総合情報発信センターを設置します。2つのセンターでは、6つの機関が全国的な研究交流の拠点として研究者コミュニティに開かれた運営を確保するとともに、多面的な共同研究、積極的な国内外への発信および次世代を担う若手研究者の育成を強化、推進します



4つの大学共同利用機関法人



人文機構本部と6つの大学共同利用機関の所在地

### 総合人間文化研究推進センター

6つの機関と国内外の大学等研究機関や地域社会との連携・協力を促進し、人間文化の新たな価値体系の創出に向けて、現代的諸課題の解明に資する組織的共同研究「基幹研究プロジェクト」を推進しています。

### 総合情報発信センター

人間文化にかかわる総合的学術研究資源をデジタル化することで、広く国内外の大学や研究者への活用を促進するとともに、社会との双方向的な連携を強化することで、研究成果の社会還元を推進しています。

### 総合人間文化研究推進センターが推進する基幹研究プロジェクト

機関拠点型	総合資料学の創成と日本歴史文化に関する研究資源の共同利用基盤構築
	日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画
	多様な言語資源に基づく総合的日本語研究の開拓
	大衆文化の通時的・国際的研究による新しい日本像の創出
連携領域	アジアの多様な自然・文化複合に基づく未来可能社会の創発
	人類の文化資源に関するフォーラム型情報ミュージアムの構築
	日本列島における地域社会変貌・災害からの地域文化の再構築
ネットワーク型	アジアにおける「エコヘルス」研究の新展開
	異分野融合による「総合書物学」の構築
地域研究推進事業	地域研究推進事業： 北東アジア、現代中東、南アジア、現代中国
	日本関連在外資料調査研究・活用事業： ハーグ国立文書館所蔵平戸オランダ商館文書調査研究・活用 ヨーロッパにおける19世紀日本関連在外資料調査研究・活用 パチカン図書館所蔵マリオ・マレガ収集文書調査研究・保存・活用 北米における日本関連在外資料調査研究・活用

### 総合情報発信センターの情報・発信事業

研究資源高度連携事業 nihu INT <a href="http://int.nihu.jp/">http://int.nihu.jp/</a> 機構内外の情報資源を統合検索する、人間文化研究データベース
情報発信事業 リポジトリ・研究者データベース 国際的に研究成果を発信するため各機関でリポジトリを公開。 また機構所属の研究者情報を一元的に公開する研究者データベースを運用
国際リンク集 <a href="http://www.nihu.jp/sougou/kyoyuka/japan_links/">http://www.nihu.jp/sougou/kyoyuka/japan_links/</a> 日本文化研究情報への総合的アクセスを支援するためのリンク集を構築し運用
NIHU Magazine (ウェブマガジン) 機構の最新の研究活動、成果を海外に発信
社会連携事業 人文機構シンポジウム 研究活動及び研究成果を広く社会に発信 第26回「苦悩する中東」(平成27年5月) 第27回「没後150年 シーボルトが紹介した日本」(平成28年1月) 平成28年度は、6月に「妖怪」、10月に「食」をテーマとして開催予定
産学連携 観光業などの産業と連携し、研究成果の社会還元を推進

### 大学院教育

国立大学法人総合研究大学院大学(総研大)の基盤機関として、文化科学研究科に4つの機関が各機関の特色を生かした5つの専攻(博士後期課程)を設置し、高い専門性と広い視野を持った研究者を養成しています。また、機構の6つの機関では、他大学の大学院生を受け入れてその研究を支援するなど、次世代を担う人材育成に貢献しています。

### 国際連携

人間文化研究にかかわる諸外国の研究機関との研究協力関係を構築し、外国人研究者招へいや研究者の海外派遣を進めるとともに、海外での国際シンポジウムの開催、講師の派遣を積極的に推進しています。また、英国の芸術・人文リサーチ・カウンシル(AHRC)との協定に基づいて日本研究を専攻する大学院生・若手研究者を受け入れて研究指導を行うなど、海外の研究者育成にも寄与しています。



モンゴル科学アカデミーとの学術国際交流協定

### 日本研究功労賞

日本研究功労賞は、YKK株式会社の協力のもと、海外の優れた日本研究者の顕彰をとおして日本への理解を深めるとともに、海外での日本研究の興隆と促進につなげています。この賞は、海外に在住し、日本に関する文学や言語、歴史、民族、社会、文化、および環境などの研究において、とくに優れた研究者に授与しています。

第5回受賞者  
アレキサンダー・ヴォヴィン(Alexander Vovin)氏  
フランス国立社会科学高等研究院教授(写真左)



第5回日本研究功労賞授賞式(平成27年12月9日)

### 社会連携

人間文化研究成果を広く社会に発信すること目的として、一般向けのシンポジウムや、各種メディアの記者等を対象とした懇談会を定期的に開催しています。また、真に豊かな人間生活の実現に貢献するため、産業界とも連携して、人間文化研究成果を社会に還元する活動に取り組んでいます。



人文機構メディア懇談会



第26回公開講演会・シンポジウム「苦悩する中東」